

私たちが目指すもの～法人理念～

理事長 西澤公一



皆さん、リード・エーの「理念」をご存じでしょうか？ 2012年に法人の「めざすところ」として掲げたもので、

「私たちは このまちで、障がいを持つ人も持たない人も、
自分らしく、ともに生きていけることを めざします。」

と謳いました。障害を「持つ」という言い方にしたのは障がいが「ある」というと障害がその人の属性としてあるという感じになり、「持つ」の方がその人の人間性とは別のものというニュアンスになると考えたからです。しかし、昨年、法人の理念を話す機会があり、障がいを「持つ」という言い方は差別的ではないかとの意見をいただきました。正直驚きました。10年経ち、社会では障がいを「持つ」という表現がどう受けとめられているのだろうと、ネット上に見られる考えも参考にしながら理事会、評議員会で話し合いました。出された意見を要約しますと、

- ・自然なのは「ある」という言い方。「持つ」というのは能動的、つまり主体的なニュアンスがある。
- ・「持つ」も「ある」も同じ。言葉は第三者、支援者が何らかの振り分けをするために必要な言葉であって、本人たちはこだわっていない。要は支援の中身。
- ・「ある」とか「持つ」とかの言葉以前に、「障がい」という言葉も必要ないのでは？そのまま「手が無い人」、「車椅子の人」で良いと思う。大切なのはそこじゃない、とすごく感じる。
- ・「ある」というのは社会的障壁があるという考え。社会に障がいがある、環境が整っていれば障がいにはならない。「障がいがある」という言い方を続けることによって、障がいがあるのは社会に障壁があるからだという考えを広げていくということもある。

などです。わたしたちは結論として言葉よりも実践の中身が大切としながらも、「『社会』に障がい（障壁）がある」という考えを広げていくために「理念」の文言を

「私たちは このまちで、障がいのある人もない人も、
自分らしく、ともに生きていけることを めざします。」

と変更することにしました。私たちがめざす理念全体としては何ら変更のないことはお分かりいただけたと思います。これからもこの理念を少しずつでも実現すべく努力してまいります。

その活動の一つである作業所で昨年一つの節目を迎えました。10年来の願いであった畑の土地を手に入れることができたのです。法人の前身である「葦の会」時代から花づくりを始め、今までに2度、畑の引っ越しを余儀なくされました。その労力、いつ立ち退きを要請されるかわからず、将来に向けての設備投資ができない借地の不安定さ。何としても3度目は避けたいと2012年に法人の長期事業計画として「畑の土地の取得」を掲げました。2度目の引っ越しの際から借用させていただいている区の公園予定地をそのまま購入できないか、区との交渉を開始し、苦節10年、少しずつ積み立ててきた資金と、福祉医療機構からの借入金でようやく実現したのです。休憩室の建て替え、ハウスの整備など これからも資金が必要なことは多々ありますが、腰を据えて一歩一歩進んでいきたいと思っております。本年もよろしくお願ひいたします。

畑日記

内堀 真樹子

2023年、明けましておめでとうございます。皆様、年末年始はいかがでしたか？仕事始めの日はメンバーのお正月の楽しかった話題で盛り上がる事でしょう。一番はお餅の話題でしょうか？おせち料理の話題ですかね？おいしい食べ物の話題は尽きませんよね。



今年うさぎ年になりました。うさぎと言えば、今シーズンもうさぎの形に見えるビオラを育て販売しています。12月の花売りで「来年の

干支のうさぎの形に似ているビオラです」とお客さんに話をすると、「ほんとだぁ」と大好評でした。一緒に花売りに行った松本さんも、とてもお勧めのビオラでした。12月は日差しが出ている時は暖かいような感じがしますが、日陰に入るとぐっと寒さを感じる外作業。花売りや外部花壇の



手入れ、もちろん畑でも寒い中厚着をしながらそれぞれの作業を頑張っています。

12月は30個を超えるたくさんの寄せ植えの注文を頂いたので、ハウスの中は寄せ植えでとても華やかでした。また、足立法人会が行っている「子ども食堂」でのクリスマスプレゼント用に畑にある花で作った「ドライフラワー」を使ってフォトフレームを45個も作りました。と言っても、ほとんど秋葉さんと榎崎さんが作ったのですが、ドライフラワー作りはみんなで行いました。プレゼントを受け取った子供たちが喜んでくれていると、とてもうれしいです。寄せ

寄せ植えの配達も終わった中旬には、毎年恒例の腐葉土用の落ち葉の回収も終わって、新しい落ち葉

の山も三つ出来上がりました。畑作業も少しずつ年末年始のお休みに備えて、みんなで準備をしました。

植え替える物は植え替えて、植え替えたものには追肥をして、寒がる植物や小さな苗には、ヒート板をしいたり布をかけたりして保温に気を配ります。この保温用の布も日中暖かい時は外したり、夕方冷え始める前にはかけたりととても気を使います。さらに植替えに使う土ですが、この時期は赤土に霜が降り、直ぐには振るい機で振るえないので、赤土を一輪車にのせて日当たりのよい場所に移動してシートの上を広げて干します。干した後、また一輪車に回収して土振るい機のところへ！やっと振るう工程に入ります。この時期の土つくりの下準備はとても手間がかかります。私が畑に行った日はC班さんが



畑班だったので、黙々と青木さんが上手にスコップで土を一輪車にのせて、土でいっぱいになっ

た一輪車を清水さんが移動してシートに広げていました。また咲き終わった苗を切り戻す作業や、冬休みの間に花が咲き過ぎないように花を取る作業も行いました。

まだまだ寒い日が続きますが、これからは少しずつ日が長くなってきて、また暖かい気候になるでしょう。それまではしっかりと暖かい服装をして、体調を崩さないようにしましょうね。葦の会作業所は、みんなが元気に揃ってこそ、『葦の会作業所』です。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



あしの家だより



【西新井ホーム】

石井 理恵

12月に入り、急に寒くなり冬らしくなってきました。ニット帽に手袋をして、さらにマスクで頑張っています。

勝さんは以前から「桐生線乗りたいです！！」と再三言っておられ、今月ヘルパーさんと一緒に念願の東武線ツアー、赤城へ行き「ラーメンとギョーザを駅で食べてきました、楽しかった」と嬉しそうに話してくれました。本当に「桐生線に乗りに行った！」のですね。裕さんは帰省の際には自宅でゲームをして過ごしていた様子でした。奥さんはお兄さんと舎人公園のクリスマスイルミネーションを見て楽しんできたと話してくれました。クリスマスが近づくと明久さんは「ケーキ食べられる？」と繰り返し聞いてきます。和也さんは、鼻歌をうたいながらご機嫌で過ごしています。クリスマス会では、皆さんおいしいごはんをケーキを食べるのに夢中で、とても静かでした(^_-)☆ 仁さんは時間があるとリビングで箱折りをしたり、自室で通信や作業所での写真を見ていたりして過ごしています。服部さんは、ご両親が体調不良だとのことで、大変心配していました。中原さんは、クリスマス会が通所先、ホームと続き、プレゼントももらってニコニコ！自分で書いた絵や作った小物を自室に飾って眺めていたり、大好きなテレビを見たりして過ごしています。今度映画「仮面ライダー」を見に行くのをとても楽しみにしているようです。



またコロナ感染が急増していますが、感染と風邪やインフルエンザなどを防ぎながら乗り切りたいと思います。

【西伊興ホーム】

佐久間 直子

朝晩寒さが厳しくなりました。作業所からの帰り道も真っ暗で、途中でイルミネーションを飾っている家が4件程あるそうで、その道を通って帰って来ようです。「綺麗なんだよー」と教えてくれる安部さんです。



今年もホームでのクリスマス会、コロナ対策のためいつもは数名ずつの食事ですが、この日だけはみんなでテーブルを囲みました。BGMを流してみんなでサンタ帽子を被って世話人入江さんも、ノリノリで一緒に唄っていたようです(^-^)

(もちろんみんなマスクをして！) 食事も、土屋さんが準備をしてくれたご馳走を並べてケーキ、ジュースとおなかいっぱい！池田さんも来てくれました。土屋さんサンタからもらったプレゼントをみんなで見て、盛り上がりました。24日夜、いつもはリビングに飾っているツリーをこっそり2階の廊下に置いて点灯すると、直ぐに増田さんが気付いて安部さん、田沢さんも部屋から出てこられ、3名のおしゃべりを聞きつけて松本さんも部屋から出て来られて「わぁ～綺麗だね～リビングで毎日見ているツリーがこんなに綺麗なんだね」にっこり笑っていました。増田さん、安部さんはずっとツリーを眺めながら、気に入っているぬいぐるみを抱いて、遅くまでお出かけのお話をしていました。ちょっとした女子会だったのかな？ 2人は11月に行った上野動物園に、欲しい物があつたようでしたが、予算が足りなくてあきらめたのでもう一度行きたいなど、スカイツリー、水族館、映画、etc.たくさん行きたい場所があるようです。コロナの感染状況を考えながら、計画を立ててお出かけをして楽しんで貰いたいと思います。今年も後数日ですが来年も良い年になるようにしましょうね(^) 来年も、よろしく願い致します。

作業所日記

高島 明美

12月になると、朝と夜の寒さが身に沁みますね。メンバーさんもしっかりと防寒対策してきてくれているのですが、朝来所時に体温を測ると、低すぎて測り直すことがしばしばあります。「高島さんは測りかたがヘタだなあ」とよく突っ込まれますが、寒いからですよ!・・・ということにしておきます。



今月のいきいきタイムの音楽ではクリスマスソングがよく歌われていました。ある日、2階で内職作業をしていると、「サンタが街にやってくる」が聞こえてきたので、我慢できずに少し飛び入り参加してきました。みんなタンバリンをもってノリノリで歌っていたので、おもわず「アンコール! アンコール!」と言ったら、もう1回、大きな声で歌ってくれました。C班さん、楽しい時間をありがとうございました。

12月の内職は、コーヒーやお菓子等の箱折が、最初から最後までずっと続きました。いつもの箱折隊のメンバーさん達がひたすら折り続けてくれたので、一か月で2万個ほども納品することができました。難しそうだなと思うものでも、すぐに慣れて素早く折れるようになるので感心しっぱなしです。お歳暮やお土産としてみんなが折った箱が日本中に旅している

かもしれませんね。

封入作業も何種類もこなしました。8種類の書類を順番どおりに封筒に入れるという作業では、奥さん・松本さん・増田さん・田沢さんが張り切ってくれていて、順番を間違えないようにと、書類の配置も工夫しながら作業してくれていました。

マスクケースの封入の封をとじる作業では、越前屋さんが大活躍してくれました。こここのところの封綴じ作業では、必ずというほど名前が挙がるようになり、丁寧に貼ってくれるので助かっています。やる気がある時の彼女は、目が一段と大きくなり、「頑張ります! しっかりやります!」と言ってきてくれます。これからも頼りにしていますね! よろしくをお願いします。

今月の挑戦シリーズ! です。まずは、鄭さんが、銘菓ひよこの箱の中に入れる仕切り折りをやってみました。最初は山

折りと谷折りを間違えそうになりましたが、職員の手元を一生懸命見ながら真似して折っていると、すんなりとできるようになりました。出来始めて少しすると、「飽きてきたよ」という表情をしながら作業していました。ちょっと難しめの作業だとやる気を出す鄭さんには、簡単すぎたかな?

ある土曜日の人出が少ない時には、奥さんと桑原さんに、お茶の箱にシールを貼る作業に挑戦してもらいました。二人とも、まがらないように気を使いながら作業していて、シールの貼り洩れも無くできていました。慣れてきてスピードアップできるようになったらいいですね。

年末の作業所の大掃除、以前はお昼12時になっても終われず、最後はバタバタで終了!! という感じだったのですが、みんなも段々慣れてきたようでとてもスムーズに、きれいにできるようになり11時30分になる前には無事に終わり、ボーナスが出ていつもより多い工賃を受け取って、相変わらずの賑やかな感じで皆さん帰っていきました。おうちでもぜひ、大掃除をしてくださいね。そして、気持ちよく新年を迎えられるといいですね。来年もよろしくをお願いします!



奥君日記より (2022年12月)



- 5日 サッカーワールドカップでは、コスタリカには負けたものの優勝国ドイツを破り、スペインも撃破した日本。ベスト16に進んだ！ベスト8を賭ける試合はクロアチアだ。クロアチアとは明日の夜戦うが俺達が寝ている間だ。月曜の畑は、秋葉さんの寄せ植え作りを手伝った。何個か自分の「オリジナル作品」を作った。寄せ植えはセンスが問われると思った。秋葉さんが作る寄せ植えは、水越君にも好評で「家にも作ってくれない？」と水越君。
- 6日 今日は朝から内堀さんが松本君達と落ち葉の袋を移動した。大変な仕事だと思う。俺は島田さんと「挿し芽」の仕事。俺達はほとんど袋の手伝いをしていなかった、この仕事を頑張ってる人は松本君・毛利君・大久保君だった。
- 7日 今日は島田さんと二人で、「多肉植物の植え替え」をした。それは3号から2.5号ポットへ移す仕事。これは上手にできるとまるでコーヒーカップから多肉植物が生えている様に見える。島田さんのアイデアは凄いと思う今日だった。ワールドカップ、クロアチアと戦った。負けたが頑張った日本だ、初めに点を取ったのが日本だったから余計に悔しい思い。
- 8日 畑では、秋葉さん・木根さん・俺で「寄せ植え」を作った。木根さん曰く「私も作ってもらおうかしら？」。葉牡丹2個・シクラメン1個・花2個は必ず入れるのが決まっている。寄せ植え上級編？をやる秋葉さんは、葉牡丹3個にシクラメン1個・花2個・その他2個も入る。俺には作れないと思う。木根さんと二人でオリジナル作品を作って秋葉さんに見てもらった。
- 10日 この頃思う事は、一年の早いこと。夏の暑さから寒い冬があつという間に来た感じだ。
- 12日 今週より榎崎さんが来たが、今日はサッカーの話が出来なかった。忙しい「ギンナン箱大」だ。吉井さん曰く「あと200枚作れば完成するよ。」200枚とは10束だ。
- 14日 水曜日のいきいき音楽は、小林先生でクリスマスソングを歌った。みんな知っている歌で良かった。午後は足立スポーツセンターへ体を動かすに行く。今日は明久君が始めて行った。筋トレから始まり、輪投げ・ゴルフをやる。「楽しかったです。」と最後の明久君の言葉が印象的だった。
- 15日 今日は「ベルクス古千谷」へ内堀さんと一緒に花売りに行く。そう言えば、今年最後の花売りだった。この頃の俺は、何となく「楽をしよう・・・」と何処かしらで思っているのかも知れない。内堀さんにも「出来る事はしよう、出来なくても手伝うから」と言われ吹っ切れた気分だった。色々心配かけて御免。「来年もまた一緒に花売りしましょう！」
- 16日 今日から竹ノ塚自転車清掃だった、13台あったが今日はいつもより人数が多く俺・今井・久保・海斗君・越前屋さんに島田さんと吉井さんの7人でやる。海斗君は5台やったと言い、越前屋さんも頑張っていた。
- 22日 今日は「村田・俺・桑原・大久保で始まった、銀杏ミニ箱だったが午後過ぎから花田君も加わった。あともう少して、ミニの枠が完成だ」後は皆で、底打ち作業だ。エアロビの青木さんは、交通渋滞のため本日は中止になった。今年最後のエアロビだけに残念だ。今年最後の職場会議があり、木箱委員の俺は「余り曲がり釘を出さない様に！」と発言していたが「一番まがり釘を出しているのは俺自身かも知れない？」頑張らないと駄目だ。ホームではクリスマスパーティーを本間さん達とやる「みんなケーキを食べられて良かったね」



【健康診断を行います】

毎年行っている健康診断を2月14日(火)に健診車に来て頂き、葦の会作業所で行います。自分の体の状態を知る大切な健康診断ですので、しっかりと感染対策をしたうえで行います。今ご本人の健康状態で気になることがありましたら、事前にお知らせください。また、結果はメンバーとご家族にお知らせいたします。注意しなければならぬ事が見つかった場合は、看護師から詳しくお話をさせていただきます。また、普段からご本人の身体のことについてご心配な事がありましたら、どんな小さなことでも構いませんのでご相談ください。作業所は「西伊興クリニック」さん、「しらいし歯科」さんと協力協定を結んでいます。さらに毎月西伊興クリニックの先生が、作業所を訪問して頂きいろいろ相談させていただいています。日々のメンバーの様子観察、毎週木曜日のバイタルチェックを合わせて、メンバーが健康で快適に過ごせるようご家族と連携して支援していきます。



コロナウイルス感染がまだまだ拡大しており、さらにインフルエンザやノロウイルスが流行る時期です。寒さもこれからが本番！バランスのよい食事と十分な睡眠で体力をつけ、しっかり予防して元気にこの冬を乗り切りましょう。

看護師 嶋原

< 花売り情報 >

1月 5日(木)・17日(火)・25日(水) 竹ノ塚センター

1月11日(水) ビッグ・エー花畑店 1月12日(木) ベルクス南花畑店

1月18日(水) ビッグ・エー南花畑店 1月19日(木) ベルクス古千谷店

カルチャー教室 今後の予定

さをり	1月21日	陶芸	1月14日・28日
習字	1月18日・25日	水彩画	今月はお休みです

編集後記

皆さんはどんなお正月を過ごされたでしょうか？我が家は元旦に息子・娘家族が来て、2歳を過ぎおしゃべりを始めた孫二人がとても賑やかに楽しく過ごしました。残りは「箱根駅伝」を応援してのんびりと過ごしました。さて、昨年1年色々な本を読み、映画を観てはこの欄でご紹介してきました。今回も一つご紹介いたします。ネット配信で観たものですが・・・ご存じの方も多いと思いますが2018年にヒットした「ぼけますから、よろしくお願ひします」という映画です。認知症と診断された87歳の母と95歳になり耳が遠くなった父による介護生活を東京でデレクターとして活躍する一人娘がカメラで追ったドキュメンタリーです。究極の老々介護。実家に戻ろうかと提案する娘に「自分の道をいきなさい、まだ自分が頑張れるから大丈夫」という父。介護保険の利用にも抵抗感がある二人。デイサービスを勧められ「自分を邪魔者扱いしている」と怒り出す母。何度も繰り返される「迷惑をかける」「どうしてこんなになってしまったんじゃろう」という言葉。日常の二人の会話の暖かさや辛さ。老々介護の現実。そして夫婦の絆。これを見ていて私の両親を思い出しました。両親は姉夫婦と同居し、痴ほう症にはなりませんでした。姉が仕事の際に見守りの為少しの時間ヘルパーさん来てもらった事があり、その際はきちんと起きて着替えお茶菓子を用意して待つ父、そして疲れて不機嫌に・・・結局父は家族以外の介護は拒否し、母の姿が少しでも見えないと母を呼び続けました。父が亡くなって母は何度かデイサービスに行きましたが、「行きたくない！」と拒否。ただ大好きだったお風呂に姉だけでは入れてあげる事が難しくなった時、訪問入浴サービスを受け入れてくれました。来てくださった方が「こんなに幸せそうな顔をして、ありがとう」と言ってくれるのがうれしいと。介護ベットのやエアーマットなど用具以外で唯一の介護サービスで利用。私の祖父母、そして父を家で介護し見送った母と、父と母を最後まで家で介護し支えてくれた姉の大変さと強さを今更ながら思い知らされました。そして、自分は年老いていかに過ごすか、過ごせるのか？誰もが自分の過ごしたい様にできる状況にあるとは言えない現実。このドキュメンタリーは続編もあります。コロナ禍の先行きはまだまだ不透明ですが、できない事よりもできる事、できる方法を考えて。今年も葦の会らしさを発揮して、メンバー・職員皆で元気に楽しく働いて、過ごしていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。(池田)